BizBoxServer ユーザーズマニュアル

「OS Pro」「4」
「OS Pro」「8」
「OS Pro」「12」

改版履歴

版数	日付	改定内容
初版	2021.02.09	初版
1.1	2022.02.15	対応 OS 変更
1.2	2022.02.22	余剰な空白ページの削除

本マニュアルについて

- 本マニュアルの内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら代理店、または販売店までご連絡ください。
- マニュアルの内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ファームウェアやインストールされているアプリ等のバージョンは、マニュアルと実機で異なる場合があります。
- 画面イメージは、バージョンにより異なる場合があります。

製品名：NTT 西日本 BizBoxServer「OS Pro」(以下「本製品」)

保証範囲

本製品は、保証書記載の内容にて保証いたします。

ただし、どのような場合においても、データの損失及び、データ損失により発生した損害を補償するものではありません。

必要なデータにつきましては、お客様にてバックアップを行うことを強くお勧めいたします。

取扱説明書(安全にお使いいただくために)

取扱説明書

安全にお使いいただくために

BizBox Server

「ＯＳ Ｐｒｏ」「４」/「８」/「１２」

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、BizBox Server OS Pro シリーズの使用方法や安全にお取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。
本誌の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。
また、本誌はいつでも読むことができる場所に大切に保管してください。

■表示について

本誌では以下のような表示を使用して警告・注意事項を説明しています。

	禁止事項を示す記号です。
	本製品の分解を禁止することを示す記号です。
	水がかかる場所での使用を禁止することを示す記号です。
	濡れた手で本製品に触れるのを禁止することを示す記号です。
	必ず実施すべきことを示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜くことを示す記号です。
	アース接続して使用することを示す記号です。

⚠警告 誤った取り扱いをした場合に、死亡または重傷を負う危険性がある項目です。

	本製品を温度の高い場所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	本製品を火気の近くに置かないでください。火災、故障の原因となることがあります。
	本製品の通風口や開口部から、内部に異物を入れないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
	本製品の上に物を載せないでください。火災や故障の原因となることがあります。
	本製品の通風口をふさがないでください。通風口をふさぐと内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	本製品の分解、改造は行わないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
	本製品をぬらさないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
	ぬれた手で本体や電源プラグや電源ケーブルに触らないでください。感電、故障の原因となることがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。差し込みが不充分のまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。
	電源プラグのほこりやゴミは定期的に取り除いてください。電源プラグにほこりやゴミがたまると火災の原因となることがあります。
	落雷の恐れのあるときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。火災、感電の原因となることがあります。
	故障や異常が発生した場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、故障の原因となることがあります。
	アース線を必ず接続して使用してください。接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意 誤った取り扱いをした場合に、軽傷または物的損害に結び付く危険性がある項目です。

	付属の電源ケーブル以外は、使用しないでください。故障の原因となります。
	本製品は振動や衝撃の少ない水平で安定した場所に設置し、装置の落下、転倒、窓からの飛び出しなどを防ぐため、地震、落下対策を実施してください。
	本体は、足が下になるように置いてください。横置きなど誤った置き方をすると倒れたり落下したりして故障の原因となることがあります。

■データのバックアップについて

万一に備え、本製品内に保存をおこなう重要なデータについては必ず定期的にバックアップを実施してください。
本製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いかねます。

■UPS の導入について

本製品を UPS（無停電電源装置）に接続することにより、予期せぬ停電等による障害を回避できる可能性が高くなります。UPS の導入をお薦めいたします。

■使用上のご注意

・本製品の誤った使用により発生するあらゆる損失につきまして弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・本製品では、CAD やデータベース(SQL サーバー等)等、頻繁にリアルタイムで高速なアクセスを必要とするアプリケーションのファイルを直接保存して利用することは想定しておりません。
高負荷がかかりトラブルの原因となることがありますので、 バックアップ以外でそのようなアプリケーションのファイルの保存は行わないでください。
・周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音がはいる場合があります。この場合は本製品の設置場所、向きを変えてみてください。
・電源が入った状態で本体に衝撃を加えたり、電源ケーブルをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
・本製品に搭載されているハードディスクドライブを電源が入った状態で抜き差ししないでください。故障の原因となります。
・動作中、不用意なシャットダウンや電源断をおこなわないでください。故障の原因となります。また、予期せぬ電源断が行われる可能性がありますので、製品動作中に必要なく電源ボタンに触らないようご注意ください。

本製品の設置環境と保管温度は、次の内容にご注意ください。
①左右は少なくとも 5cm 以上、背面は 10cm 以上の隙間を確保すること
②熱を発する機器のそばには置かない。
・動作温度:　0℃～40℃　湿度:5~90% (結露しないこと)
・保管温度:-10℃～50℃　湿度:5~90% (結露しないこと)
・本製品を廃棄する場合はお住いの自治体の指示に従ってください。

目次

本マニュアルについて **3**
保証範囲 **3**
取扱説明書(安全にお使いいただくために) **4**
目次 **5**
第 1 章: 一般ユーザーログイン **6**
概要 6
ログインインターフェース 6
メニューツリー 9
システムのリソースモニターのクイック表示 9
一般的な設定 10
言語の変更 10
お好み設定 11
パスワードの変更 11
ログアウト 12
ファイルセンター 13

第 1 章: 一般ユーザーログイン

概要

本製品は、**一般ユーザー**向けに Web インターフェース接続機能を提供しています。これを用いて、ネットワーク上の任意の場所にて本製品にアクセスしファイルを管理することができます。

＊　ここでいう一般ユーザーとは、WebAdmin（管理者）によって作成された個人アカウントユーザーを指します。

推奨するブラウザについては、以下を推奨しております。

OS	Windows8.1/10/11	MacOS(Catalina/Big Sur/Monterey)
ブラウザ	GoogleChrome52 以上、Microsoft Edge(Chromium 版)	Safari（プライベートブラウズ※機能を使用すること）

※Safari 起動後、「メニューバー」の「ファイル」から「新規プライベートウィンドウ」を開くとプライベートブラウズになります。

ログインインターフェース

最初に、ネットワークがインターネットに接続されており、システム管理者がローカルユーザーアカウントを作成していることを確認してください。**一般ユーザー**として、本製品 にログインするには次の手順をお試しください。

以下の説明は工場出荷状態の DHCP 設定で使用されている場合のものです。

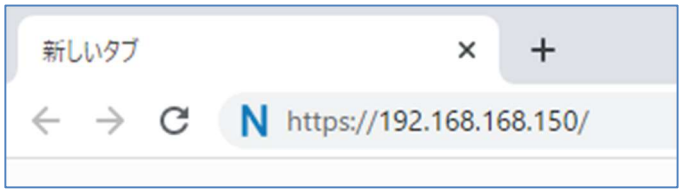
（接続方法は WindowsPC/MacPC 共通です。本説明では GoogleChrome での表示画面で説明しています)

① WebAdmin（管理者）に、本機の IP アドレスを確認してください。または本体の LCD 画面には 3 秒ごとの更新で様々な情報が表示されます。その中の「LAN 1 」という項目に本体に割り当てられた IP アドレスが表示されます。

② 本体と同一のネットワークに接続した PC からブラウザを起動して、https://【本体の IP アドレス】

＊　この説明では「192.168.168.150」を入力し接続します。

＊　この時必ず「https」でアクセスしてください。

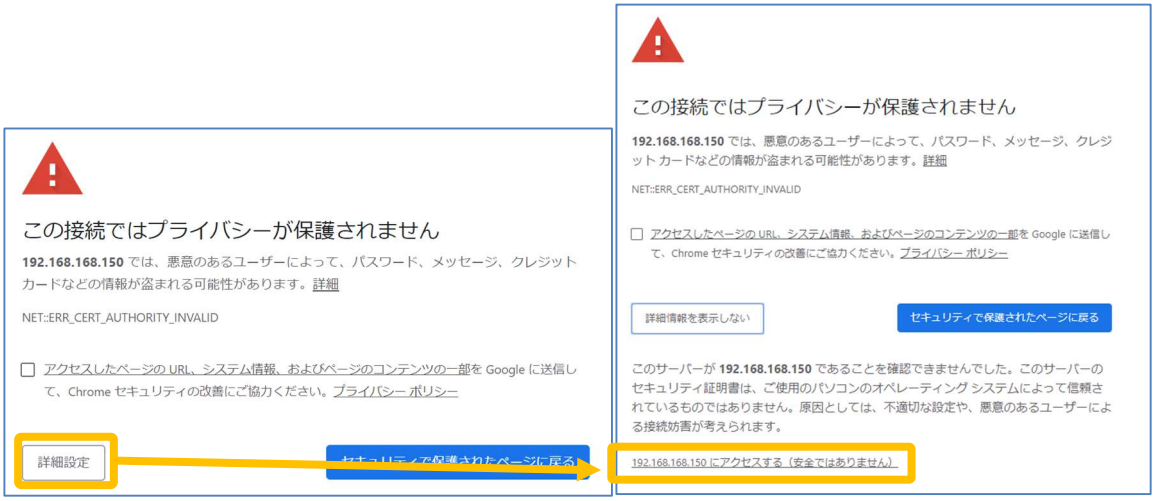


③ 以下のような画面が表示されますので「詳細設定」を押下してください。

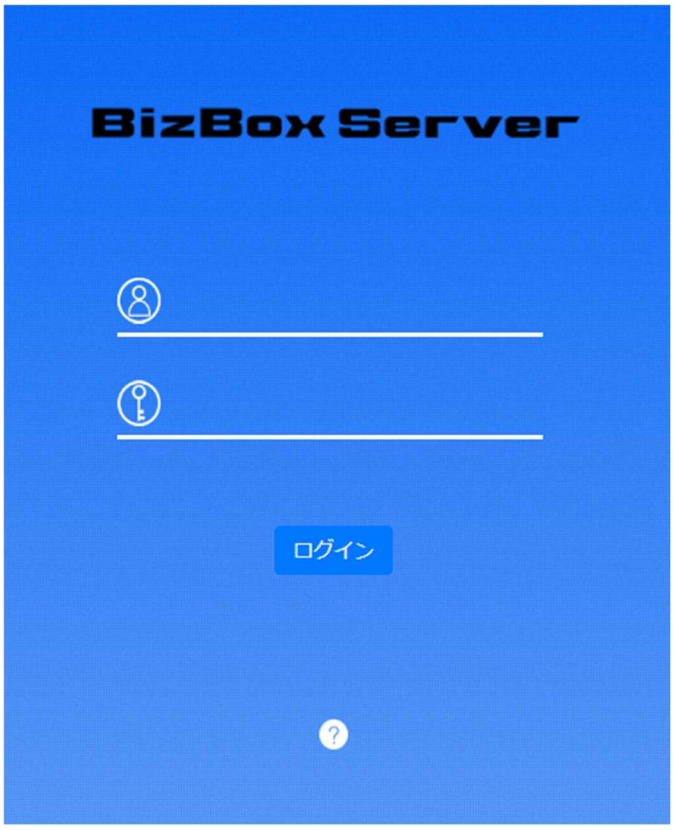
その後「[IP アドレス]にアクセスする（安全ではありません）」を押下してください。

（証明書がないため、このような警告が出ていますが問題ありません。）

※ブラウザによってこの警告画面は異なる場合があります。



④　ログイン画面が表示されます。WebAdmin（管理者）のアカウント、もしくは一般ユーザーの場合



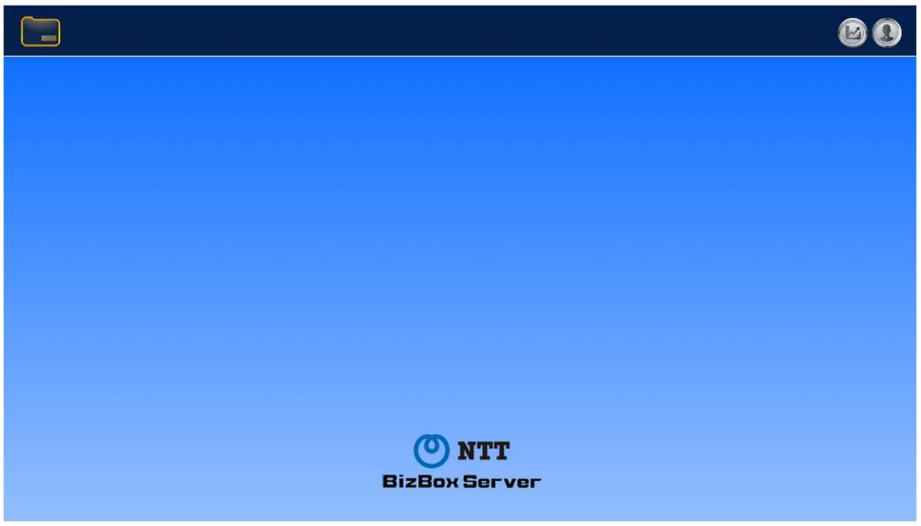
WebAdmin（管理者）から発行されているアカウント情報を入力して推奨ブラウザでログインします。

⑤　ログイン後、表示されるデスクトップ画面は次の通りです。

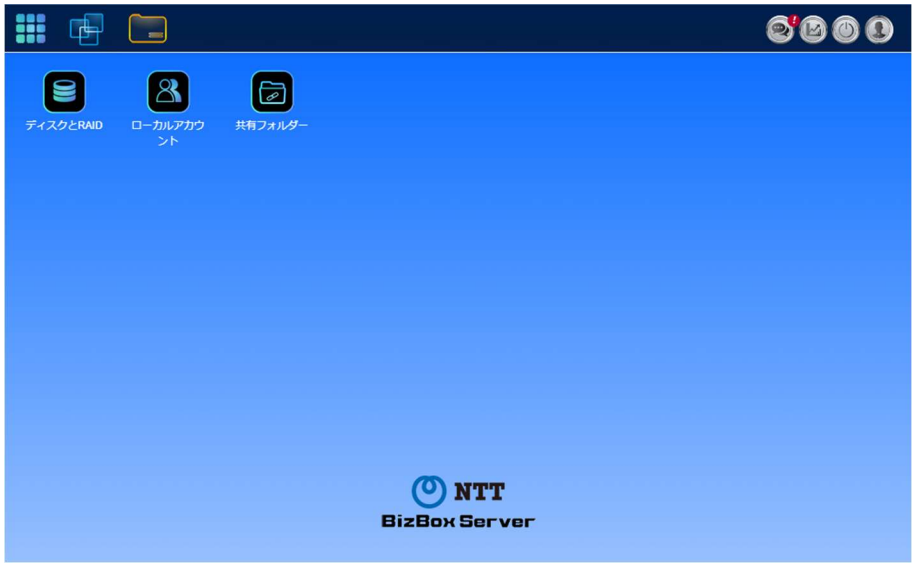
【一般ユーザー】

一般ユーザーインターフェースは次の画像の通りです。ここから、パブリックフォルダー、アクセス権限が付与されたファイルへのアクセス、デスクトップの外見変更、パスワードの変更、表示言語の選択および リソースモニターの確認をネットワーク上の任意の場所から行うことができます。

WebAdmin（管理者）とは違い、ファイルセンターの機能のみ使用が出来、アクセスできる設定項目は外見に関することを除き、制限されています。



【WebAdmin】



メニューツリー

メニューツリーで、一般ユーザーが 本製品で操作することができる各トピックにアクセスすることができます。

【一般ユーザーの場合】

メニューバー	
項目	**説明**
ファイルセンター	ファイルセンターに入ります。

【WebAdmin の場合】

メニューバー	
項目	**説明**
コントロールパネル	コントロールパネルに入ります
アプリセンター	アプリセンターに入ります
ファイルセンター	ファイルセンターに入ります

これらの項目上にマウスを移動し、押下すると、各項目の対応画面が表示されます。

システムのリソースモニターのクイック表示

メニューバーの右上隅で、 を押下します。CPU、メモリーおよびストレージ使用状況などのシステムリソース監視情報が表示されます。

「一般的な設定」についての説明が必要と思われます。

一般的な設定

言語の変更、お好み設定、パスワードの変更、ログアウトが表示されます。メニューバーの右上隅で、 を押下し設定変更を行います。

言語の変更

※WebAdmin ではこの項目はありません。

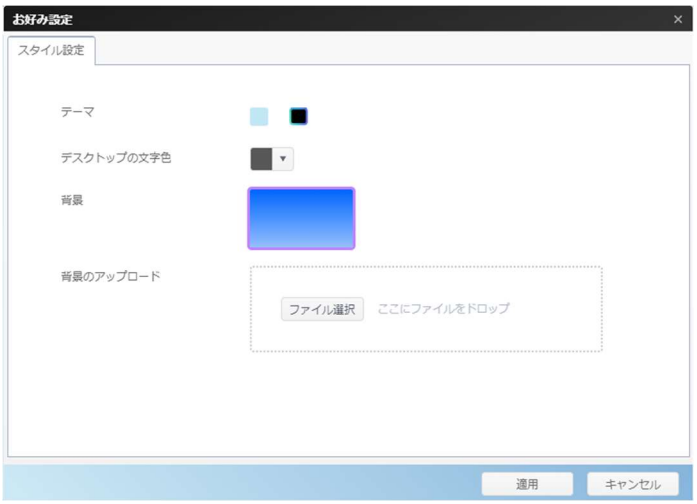
言語の設定変更が可能ですが、本機では日本語のみサポート対象となります。

日本語以外での利用は、サポート対象外となります。

お好み設定

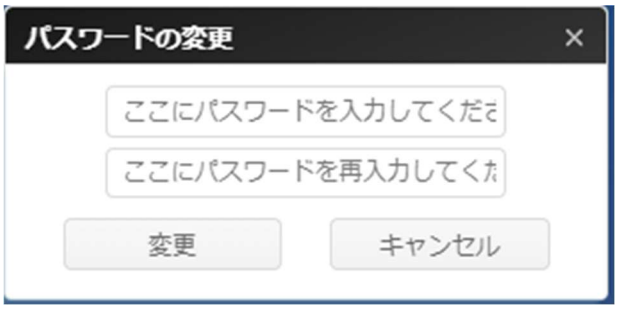
※WebAdmin にはこの項目はありません。

メニューバーの右上隅で、**お好み設定を押下します。**テーマ、デスクトップの文字、壁紙を変更することができます。



パスワードの変更

メニューバーの右上隅で、**パスワード**項目を選択します。**パスワードの変更**画面が表示されます。 **新しいパスワード**ボックスに新しいパスワードを入力し、**確認**ボックスに新しいパスワードを確認のため再入力します。 **[変更]** を押下して、パスワードを確定します。



ログアウト

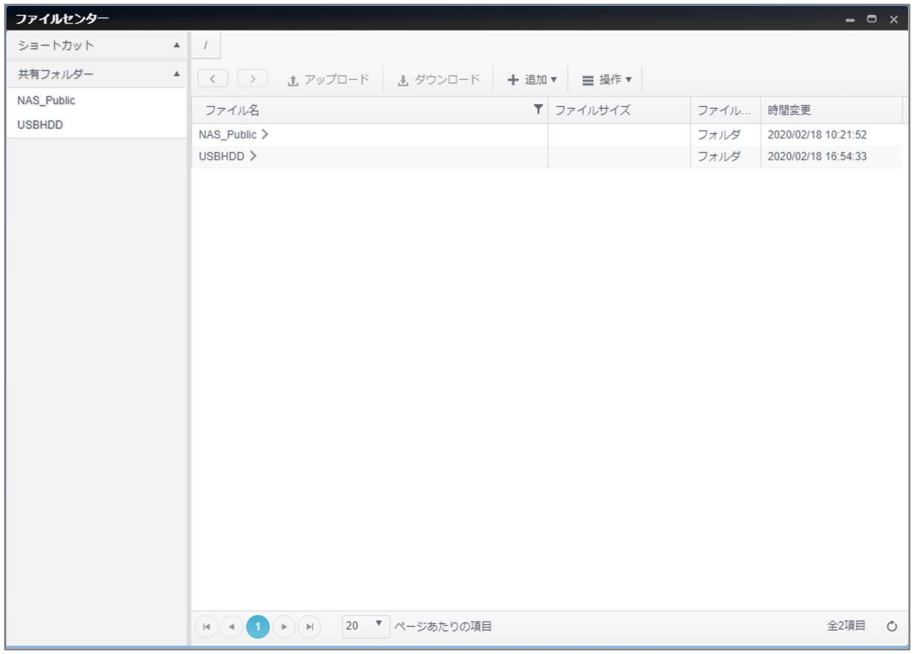
ログアウトを押下したあと OK を押下し、**一般ユーザー Web インターフェース**を終了します。

ファイルセンター

ファイルセンターにより、WebAdmin(管理者)、一般ユーザーは、Web インターフェースを介して、ファイルのアップロード、ダウンロードおよびファイル/フォルダー操作ができます。ファイルセンターアイコンを押下します。システムは、公開システムフォルダー、ACL が許可された関連フォルダーおよびログインユーザーの**ホーム**フォルダーを表示します。

左側には、対象のログインユーザーが利用可能なすべてのフォルダーが一覧表示されます。右側には、選択したフォルダーに対する詳細なファイル/フォルダーのリストが表示されます。

機能タブを使ってファイル/フォルダーを管理したり、マウスの右ボタンをクリックして機能メニューを表示します。



いずれかの共有フォルダーにアクセスしなければ操作を行うことは出来ません。

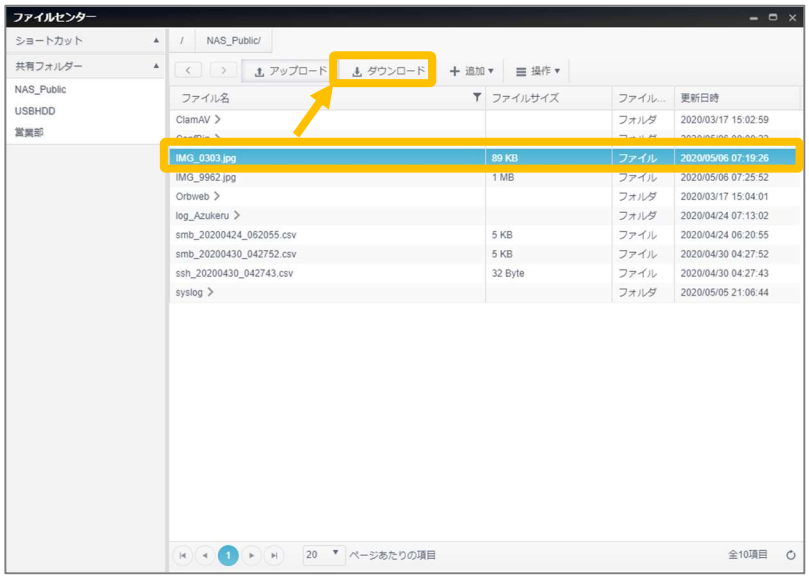
<u>アップロード</u>

①ファイルを選択するかアップロードしたいファイルをドロップします。同名のファイルがあるのにアップロードしようとすると失敗します。上書きしてもいい場合は[ファイルが存在する場合、上書きする]にチェックを入れます。

②100%になればアップロードは完了です。右上の X で画面を閉じてください。

ダウンロード

ファイルを選択し、ダブルクリックをするか、[ダウンロード]押下するとファイルのダウンロードが行えます。



追加（フォルダー作成）

①追加にマウスを合わせるとフォルダー作成が表示されるので押下します。

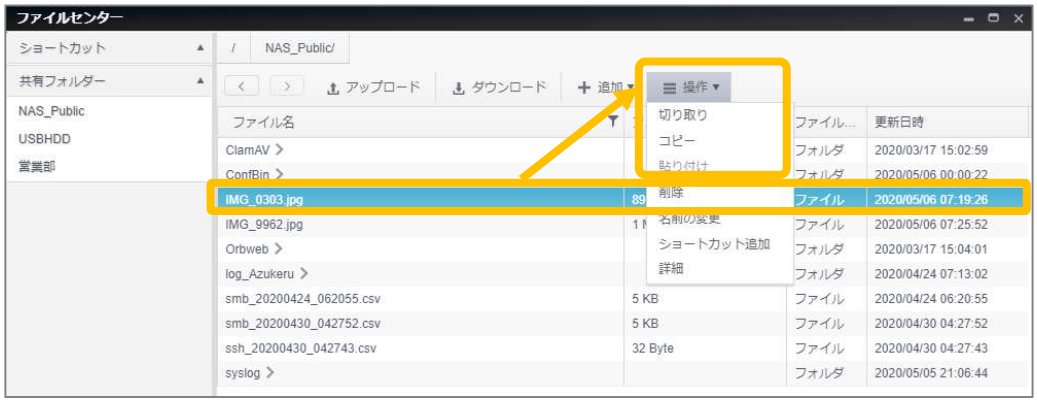
②フォルダー名を入力し、OK を押下します。

切り取り/コピー/貼り付け

①操作を行いたいファイル/フォルダーを選択します。SHIFT や CTRL を使い複数のファイル/フォルダー選択も可能です。

②操作にマウスを合わせるとメニューが表示されるので切り取り/コピーを選択します。

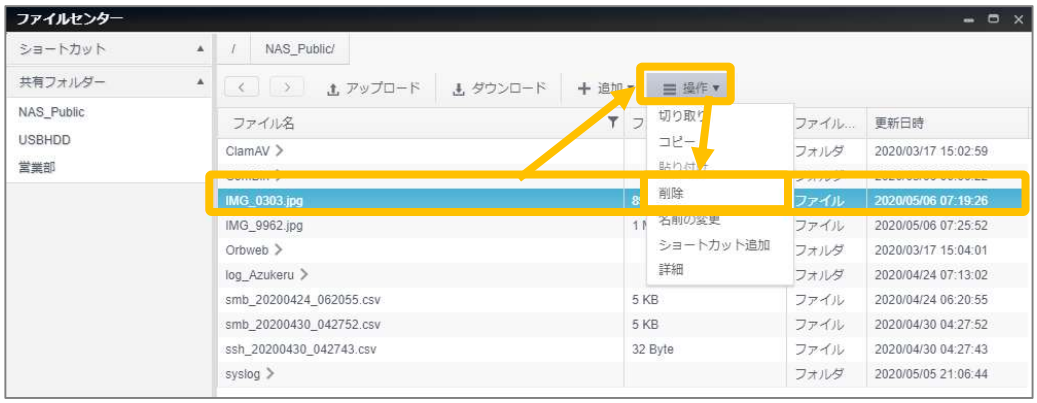
③貼り付けを行いたい場所で貼り付けを選択します。



削除

①削除を行いたいファイル/フォルダーを選択します。SHIFT や CTRL を使い複数のファイル/フォルダー選択も可能です。

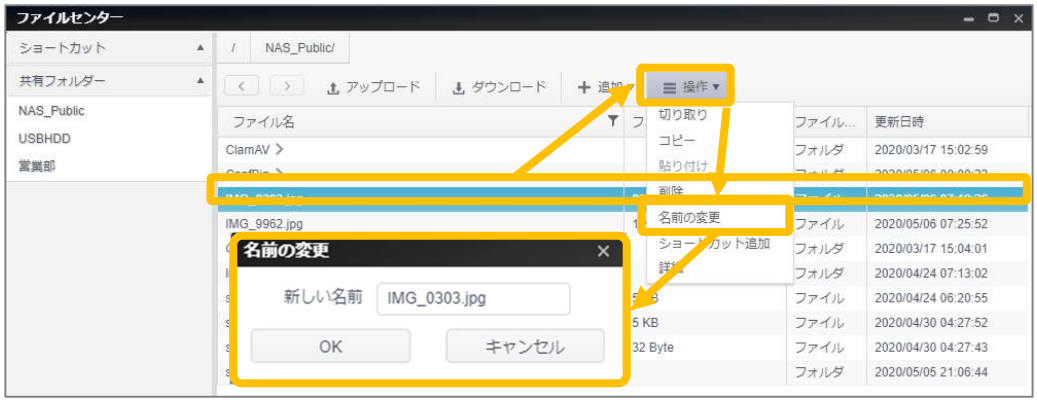
②操作にマウスを合わせるとメニューが表示されるので削除を選択します。



名前の変更

①名前の変更を行いたいファイル/フォルダーを選択します。

②操作にマウスを合わせるとメニューが表示されるので名前の変更を選択し新しい名前を入力し OK を押下します。

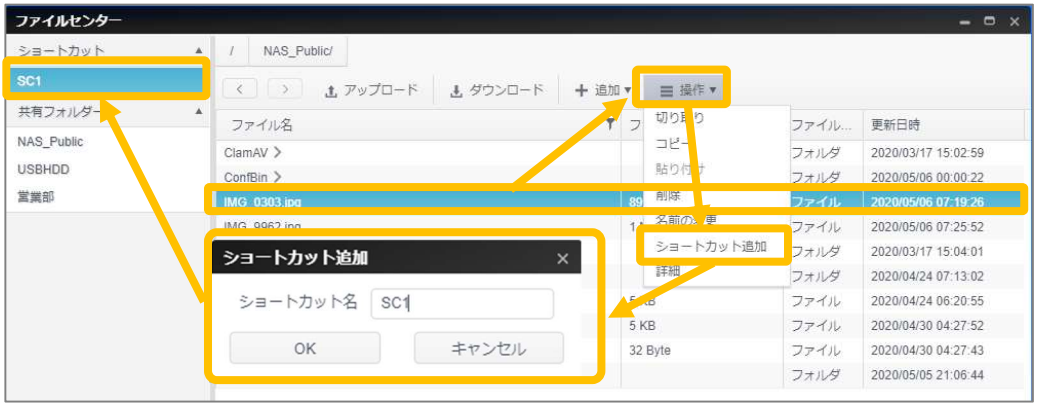


ショートカット追加

①ショートカットを追加したいファイル/フォルダーを選択します。

②操作にマウスを合わせるとメニューが表示されるのでショートカット追加を選択しショートカット名を入力し OK を押下します。

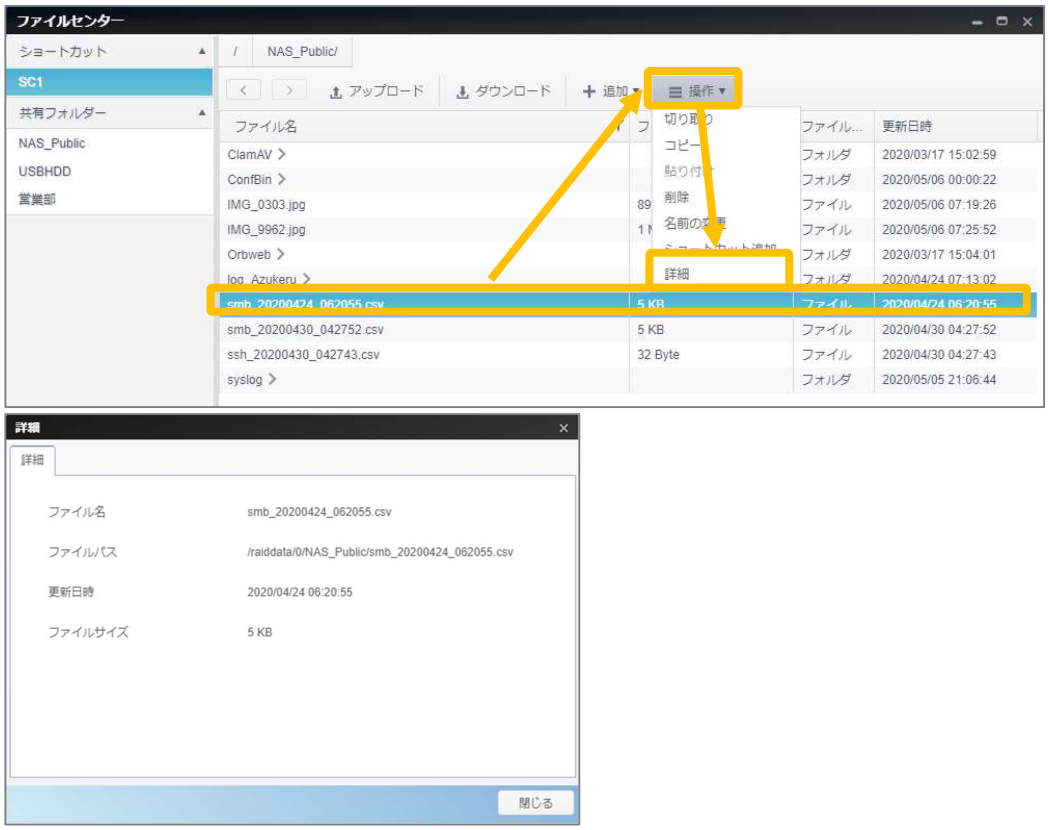
③左上のショートカットに入力したショートカット名が登録されます。これにより素早くアクセスすることが出来るようになります。



詳細

①詳細を表示させたいファイル/フォルダーを選択します。

②操作にマウスを合わせるとメニューが表示されるので詳細を選択すると詳細が表示されます。



ファイルセンターの機能に関する説明は以下の通りです。

ファイルセンターの機能	
項目	**説明**
アップロード	対応する 本機 フォルダーにファイルをアップロードします
ダウンロード	本機からファイルをローカルシステム内の対応する 本機 フォルダーにダウンロードします
追加	フォルダーの作成を行います
操作	
切り取り	選択したフォルダー/ファイルを切り取ります
コピー	選択したフォルダー/ファイルをコピーします。シフトキーを押しながら、次のファイル/フォルダーを複数選択します
貼り付け	切り取り/コピーしたファイル/フォルダーを貼り付けます
削除	選択したフォルダー/ファイルを削除します
名称変更	選択したフォルダー/ファイルの名称を変更します
ショートカットに追加	選択したファイル/フォルダーをショートカットリストに追加します
詳細	選択したファイル/フォルダーの詳細を表示します

注

- ファイルセンターのアップロードを使って本機にファイルを転送するとファイルの属性が SA 属性に変更されます。